



八戸高専だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16-1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

第152号

平成29年8月

第54回東北地区高専体育大会



卓球部 27年ぶりの団体優勝



男子バレーボール部 団体優勝

女子バスケットボール部 団体優勝

目

次

新校長のご挨拶	1
3主事から	2
新入生紹介	3
1学年主任から	7
専攻科新入生紹介	7
今年の編入生・留学生紹介	8
授業参観日を終えて	9
新任教職員紹介	10
八戸高専と一関高専の違い	11
COC/COC+の紹介	11
厚生補導委員会より	12
北辰寮より	13

就職・進学状況について	14
国際交流活動計画	15
相談室から	16
図書館の今年度の予定	17
男女共同参画委員会から	17
第70回青森県高総体結果	18
東北地区高専体育大会結果一覧	19
学生表彰	21
「保護者の声」設置について	22
授業料等の納付について	22
後期授業料免除のお知らせ	22
公開講座	22



八戸工業高等専門学校長
圓山重直 (まるやま しげなお)

新校長のご挨拶

この度、前校長の岡田益男先生が定年でご退官されたあとをうけて、第9代八戸工業高等専門学校長を命ぜられ、東北大学より本校に赴任して参りました。よろしくお願い申し上げます。

本年度の新入生は、準学士課程では機械システムデザインコース 40 名、電気情報工学コース 39 名、マテリアル・バイオ工学コース 42 名、環境都市・建築デザインコース 44 名、合計 165 名です。専攻科課程では機械システムデザインコース 9 名、電気情報システム工学コース 7 名、マテリアル・バイオ工学コース 11 名、環境都市・建築デザインコース 2 名合計 29 名であり、準学士、専攻科課程の入学生は合計 194 名になります。4 年次への編入学生 2 名、外国からの留学生は 3 名であり、今年も県内はもちろん、県域を越え、国境を越えて、多くの若い優秀な皆様を迎えることが出来ましたのは、本校にとりまして、大きな喜びです。

本年 4 月 4 日に行われた入学式では、中学校を卒業したばかりの新 1 年生が紹介され、元気に返事をしてくれました。それぞれが、新しい生活に少し不安を抱きながらも、まっすぐ前を向いてキラキラした眼差しを向けていたのが印象的でした。

私は、校長として赴任する以前に、非常勤講師として、本校の教鞭を執っていたことがあります。その時、各学年のクラスの学生一人ひとりを、先生方全員で見守りながら育てているのを実感し、すばらしいと感じました。前職の東北大学では、研究室の学生は個別に指導しますが、クラスや学年の全学生を教員が掌握することは出来ませんでした。本校では、先生方が個々の学生と近い距離で教育と指導を行っております。学生は実感していないかもしれませんが、学生諸君は大勢の先生方に暖かく見守られながら大切に育てられているのです。

私は、これまで東北大学工学部の 3 年生から工学研究科博士課程学生まで、つまり、おおよそ 21 歳から 28 歳の学生の教育と研究指導にあたってきました。これからは、本校の一員として、15 歳

からの学生教育に携わることになり、喜びと共に身の引き締まる思いをしております。

平成 27 年度より、全国 51 高専のトップをきって、本校は 4 学期制と自主探究学習プログラムを導入しました。このプログラムは、自らが課題を決めて、調べて、実験・観察をし、結論を出すものです。これまで行われてきたように、「問題が与えられてそれを解く」教育とは異なり、「課題を自ら発見し解決する」学習で、時代を先取りした教育です。昨年度は、多くの学生が、面白い研究テーマを見つけて素晴らしい成果を出してくれました。

本校では、学生の国際化を目指し、海外インターンシップ等多くの国際交流プログラムを準備しております。昨年度の 9 月には、学生 28 名がシンガポールに出かけ、海外を経験してきました。また、専攻科の学生がフランスにおける 3 か月のインターンシップに参加するなど、多くの学生が国際交流を経験しております。

私は、東北大学大学院の学生時代にロンドン大学インペリアルカレッジに留学したことがあります。それなりに英語は勉強していたのですが、ロンドンに到着した時は、私の英語が全く通じませんでした。しかし、1 年もすると英語で討論し、冗談も言えるようになりました。この留学では、英国人だけでなく世界の友人から本音の日本観や各国の実情も知ることが出来ました。

その時の体験が、その後の私の人生や世界観に大きく影響を及ぼしています。東北大学の教員を経て八戸高専校長として、現在あることとも深い関係があると思います。

本校の学生諸君には、若いときから積極的に世界に飛び出し、多くのことを学んでほしいと思います。そのためには、英語で考え自分の考えを表現するコミュニケーション能力が必要です。コミュニケーション能力には、英語力だけでなく専門知識や教養なども重要なのです。本校は、多くの海外プログラムを実施しているので、それらを有効に活用し、自分を磨き上げてほしいと思います。

3 主 事 か ら

「卒業後の自分」 のために学ぼう

教務主事
武 尾 文 雄

この4月から、全国の大学や高专で「三つの方針」を策定し公表することが義務付けられ、本校でも「卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー：DP）」、「教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー：CP）」、「入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー：AP）」をホームページ等で公表しています。是非ご覧下さい。このうち「卒業の認定に関する方針」は従来の「学習・教育到達目標」に「自ら課題を発見して探究する姿勢」を持つことを加えた内容としており、卒業後に実践的・創造的技術者として社会に貢献するために身につけておくべき能力を示しています。学生諸君には、これらの能力を育成するための方針（CP）に基づいて編成された授業科目や実験・実習、自主探究活動、さらには国際交流活動などを通じて、DPに掲げる内容を十分に満たして卒業することを期待しています。そのために、折に触れてDPに目を通し、自分が何を身につけたか、何を身につけなければならないのかを振り返って下さい。

学修単位科目の導入に伴って、自学自習時間の確保についてはこれまでもお願いしてきました。宿題も増え、学習時間は増加していると思いますが、その中身はどうでしょうか？頻繁に情報が入ってくるスマホを片手に「ながら勉強」になっていませんか？友達同士、スマホ無しで勉強に集中する時間を決めるなど、自学自習時間の確保とともに、是非「質の向上」も図りましょう。

社会的コードの話

学生主事
河 村 信 治

社会生活上のさまざまな約束事や慣例のことを「社会的コード」といいます。規則やマニュアルとして明文化されるものから、挨拶や礼儀作法、食事や服装のマナー、他者とのコミュニケーションの間合いや距離の置き方等の不文律まで、多岐にわたります。これらは家族、学校、地域社会、等を通した社会的環境の中で経験や学習を通して意識的、あるいは無意識に身につけるものです。

現在の高専はけっして閉鎖的で均質な学校ではありません。低学年生と高学年生・専攻科生の年

の差は、この年代としてはたいへん大きく、さらに共同研究等で外部の社会人の出入りも頻繁です。最近は女子学生や海外留学生・研修生が増えました。これが広くないキャンパスの中で共生しているのは、一般の高校や大学以上のダイバーシティであり、高等教育機関として公共的空間の縮図のような場になっています。

社会的コードは、ある社会集団の中で通用しても、異文化では通用せず、また同一社会でも時代によって変わります。硬直化しやすい規則に頼らず、時代のコードを自律的に読み解き対応できることが理想です。高学年生にはこれを判断し、範を示すことを期待しています。また低学年生には、自他共に存在を大事にしながら外を見る目、公共への意識を高めてもらいたいと願い、学生主事として指導してまいりたいと思っています。

寮生による 寮環境の向上を

寮務主事
中 村 重 人

北辰寮は今年度から多くの点が変更されました。男子学生の全寮制が廃止され、希望者のみが入寮しています。女子学生の入寮希望者が増えたため、N棟を臨時に女子棟にしました。低学年男子の入寮希望者が減りましたが、高学年男子の入寮希望者が増え、E棟だけでは足りなくなったためA棟1階を男子高学年フロアとしました。昨年度、盗難が頻発したため、自分専用のカギ付き小型ロッカーを1年生男子寮生に貸与しました。週末の外泊申請は簡略化し、各自が在寮・外泊を申告し、フロアごとで提出する体制にしました。給食業者が替わりました。食事内容は寮生にはおおむね好評です。給食の際に寮生であることを確認するため学生証の読み取りを行うようにしました。宿直は教員と外部委託の2名体制となりました。

今年度はさらに補食室、洗濯室などの利便性の向上、また、秋学期、発展学習期間の対応など、種々の改善、変更を考えています。しかし、北辰寮の施設、設備は古くなってきており、修理、修繕をしています。壊れても何の申告も無い、清掃、ゴミ捨てを言われないとやらないなど、寮生自身が生活環境の改善に積極的で無いところが見受けられます。環境を良くして行くためには、寮生それぞれが相応の負担、活動をしていかなければなりません。これからも、寮生会、委員会活動を活発にし、寮生自身が寮環境の向上に取り組む姿勢を育んでいきたいと思っています。みんなでより良い寮を作っていきましょう。

新 入 生 紹 介 L1

Have a nice day !

L1担任 蝦 名 謙 一

春学期、夏学期と保健体育の授業がなく、毎日のSHRでの顔合わせで、なかなか一人ひとりを覚えられず、個人面談などをして、ようやく覚えてきている今日この頃であります。

入学して3ヶ月が過ぎました。入学当初から見れば、寮生活や学校生活に、大分慣れてきたようでもあります。ひとりひとり、クラスの友達もだいぶできました。「親しき中にも礼儀有り」と申します。友達を思い、育まれていく中で、それぞれに自分を律しながら自立を目指し、自分でよく考えて、判断して、行動した成長を願います。

「学校に来る」「授業で寝ない」「教員室を訪ねる」の学級目標のもと、今のところ様々な活動をよくこなしております。毎日の自分の生活の中で、無理のないリズムをとり、しっかり睡眠時間をとって、授業で覚えるような生活を心がけて、自分の夢に一步步近づいてほしいと願います。

Have a nice day !

いい一日でありますように!



自主探究学習、担任もコツコツ頑張っております。
どうすれば精度が上がるか？
ナイスショットです！

L 1

環境都市・建築デザインコース1年

大 柳 諒

(青森市立古川中学校出身)

ぼくたちの学級は、とてもにぎやかです。毎日が、明るく過ごせて良いと思います。

僕は入学当時、この学級でなじんでいけるか心配でした。しかし、この2ヶ月、早いようで少し長かった2ヶ月でたくさんのことをみんな経験し

ました。そのおかげか、みんなと仲良くなることができました。

僕は、まだ未熟なクラス連絡委員ですが、どうぞよろしくお願いします。みんなと出会えて、今、本当によかったと思っています。あと十数月しかないけど、このクラスで、思い出をたくさん作ろうと思います。



特活：クラス連絡委員による席替え風景

教卓：大柳君 教卓左：原君

最高のクラス

マテリアル・バイオ工学コース1年

原 遼太朗

(八戸市立長者中学校出身)

「あれ、まだ3ヶ月しか経ってないのか」、そう思ってしまう程、このL1にはもうたくさんの思い出があります！その中でも特に楽しかったのが球技大会！L1がどの競技もけっこういい線までいったのはL1の団結が強いことを良く表していると思います。

それに特活の時間！とてつもなく優しい蝦名先生のおかげで、特活は体育館で各々スポーツを楽しむことができた。とっても楽しかったです！・・・いや、思い出語りはまだ早いですね（笑）

僕たちは、まだまだこのL1で過ごしていくことになります。時には、ぶつかることも多くあると思いますが、その時は、クラスの皆、そしてちょっと天然だけど、とても頼りになる蝦名先生の力を借りて、壁を乗り越え、最高のクラスを作っていきます！

「がんばるぞ L1!!」



校内球技大会：L1 グラウンドで準備体操風景

新 入 生 紹 介



Keep on challenging !

L2担任 菊池 秋夫

早いもので今年度が始まって既に3ヶ月が過ぎ、新入生も高専の生活に慣れてきたようです。中間テストも終わり、成績に一喜一憂しつつ、部活動や勉強に頑張っている最中だと思います。

八戸高専は、青森県全域、岩手県からも入学者がきています。南部弁と津軽弁がまざる文化です。言葉の違いは、その言葉を話す文化の違いにも通じます。八戸高専の教育目標の一つに国際的に通用する技術者を目指すという項目があります。国際化のために、英語や他の外国語はコミュニケーションのツールとしてももちろん重要です。しかし、それ以上にすぐ隣にいる人間を理解しようとし続ける（これが大事!）姿勢がなくては、真の意味での国際化は不可能ではないでしょうか。ぜひ在学中に真のコミュニケーション能力を高めてほしいと思います。学生時代は、自分の親しい仲間だけで固まることができます。しかし、就職後は、気が合わない相手でもチームを組んで仕事をする可能性も高いです。そういう場合でも恐れずに飛び込んでいけるトレーニングを在学中からスタートしていきましょう!

そういう姿勢、相手を理解しようとする姿勢は、学習でも研究でも大切になります。相手が、人間でも、本でも、試合でも、風景でも「把握する」「理解する」ことが多ければ多いほど、思わぬ豊かな結果に結びつきます。自主探究、卒業研究、そして大学・大学院での研究、企業等での仕事は、必ずこの過程がないと始まりません。業種などで、先行研究、マーケティングなど様々な呼び名はありますが、それに対して自分の考えを持っていく、その経験を増やして、自信につなげましょう。

三八地区、上北、下北、津軽など、あるいは岩手の軽米、種市などさまざまな地域から集まって、一つのクラスが出来ました。さまざまな地域から集まって個性豊かなメンツが揃っています。新たな41名と一緒にやっていける幸せを噛みしめています。にぎやかでありながら締めるところはしっかり締め、いろんなアイデアが生まれる面白い空間になってほしいと思います。泥臭く、粘り強く、勉強、部活、友達関係、研究、様々なことにチャレンジしてほしいです。

L2の現状

環境都市・建築デザインコース1年

林 太一

(八戸市立南浜中学校出身)

僕達が「生徒」から「学生」になり、はや2ヶ月が経ちました。友人達に、その事を話すと、「え、もうそんなにたったの?」と返ってくるのがほとんどです。それだけ、この2ヶ月の高専生活は私たちにとって楽しく、あっという間な時間でした。

我らがL2クラスは、男女共に活発でいつでも賑やかな雰囲気が感じられます。また、担任への愛が他のクラスとは比べ物にならないほど強く、よく学生の間では「きくりん」というワードが聞かれます。

そんなL2クラスでいられるのもこの1年だけです。恐らく1年なんてあっという間に過ぎるでしょうが、その間に仲間達と沢山の濃い思い出を作っていこうと思います。

Daily Life in L2

電気情報工学コース1年

對馬 惇史

(青森市立古川中学校出身)

入学して間もない頃ほとんどが知らない人ばかりで話しづらかった、そんな日々が一番短かったのがL2だと思っています。L2は、とても明るく、賑やかで、話しやすい人ばかりで、居心地の良いクラスです。また、とてもけじめのあるクラスでもあります。休み時間はとても賑やかで、全力でリフレッシュしていますが、授業が始まると、とても集中して勉学に励んでいます。そしてクラスでは良く、勉強を教えあっている様子が見られます。こうしてクラス全体で学力向上に励んでいることもとても良いことだと思います。

一年間というとても短い時間ですが、みんなでたくさんの思い出を作り、1日1日を楽しみ、これからも楽しんで行きたいと思っています。

新 入 生 紹 介



定点観測？

L3担任 齋 麻 子

今年、専攻科2年生までの全7学年を見通して眺めた時、現3年生を除く、すべての学年を1年次に私が担任&全クラス教科担当していたことがわかりました。例年に違えず(?)、今年も1年の担任です。私は本校1年次のハードルかも!?と。冗談はさておき、入学まもない学生たちをこの場所に立って長く見てきていることは真実です。この位置に立ちつつ、卒業間近の学生の小論文や志望理由書を完成させるお手伝いもしていると、本科5年間または専攻科7年間の成長の軌跡が見えます。入学と卒業の両方に関われるという貴重な経験の中、頼もしい学生たちの輝かしい姿を目にしています。昨年度は女子学生の進学に関する啓蒙活動の一環で、本校卒業生のロールモデル集の取材・編集を手がけました。幼い頃からの夢を叶え、充実した日々を送る卒業生、大学院で夢を叶えるべくひたむきに研究生活を送る卒業生に再会できました。この活動は私の中でとても大きな財産となりました。そして、今、改めて新1年生と向き合ってみると…、この子たちにはどのような未来が待っているのだろうか、と、一年次という定点に立って、これまで以上に心躍ります。

さて、本題に入りましょう。今年のL3のメンバーはとっても元気です!そして、積極的な学生の姿が多くみられます。実のところ、入学当初、とある科目担当教員から、「L3だけ授業中の反応が薄い」というご意見をいただきました。そして、その言葉をそのまま学生たちに伝えると、突然ものすごく悔しがり…、その後、とても元気でにぎやかなクラスになりました。時にはにぎやかすぎる時もありますが…。先日行われた校内球技大会でも、各種目の選手を決める場面では、ほぼ担任いらず。学生たちが主体的に進め、あっという間に出場選手が決まりました。その様子を廊下からこっそり見ていたL4の吉田先生も驚いていました。とても頼もしい限りです。「指示待ち」ではなく、「自分の頭で考え、主体的に動けること」はとても大切です。その主体的に動ける力を存分に生かしつつ、自らの抱いた夢に向かって邁進してほしいです。時にはつまづくこともあるでしょう。その時こそ私の出番!と思い、L3の皆さんを見守っています。

最高のクラス

電気情報工学コース1年
洞 内 涼 雅
(野辺地町立野辺地中学校出身)

4月、不安だらけの入学からもう3か月が経ちます。あのころの緊張はすっかりなくなって、今ではL3が一番賑やかなのではと思っています。賑やかすぎて騒がしくなってしまうこともありました。が、春学期到達度試験を終えた今は、みんな授業に真剣に取り組んでいると思います。

さて、僕は入学したてのころ、同じ中学校の友達が全員同じクラスになったこともあって、積極的に話せていなかったと思います。このメンバーで過ごす残り9か月を最高のものにできるよう、クラスみんなともしっかりとたくさん話をしたいと思っています。

目標

環境都市・建築デザインコース1年
古 林 和 樹
(野辺地町立野辺地中学校出身)

友達を作れるか、勉強のレベルについていけるかなど、不安を抱えながら迎えた入学式から、もうすぐ3か月経とうとしています。そんな風に抱えていた沢山の不安の種はゼロとまではいかないものの、誰もが少しずつ消化していけているものと思います。自分もゆっくりではありますが、気軽に話せる人が増えてきています。

そうやってみんなと話していると、それぞれが勉強や部活動などでしっかりと目標をもって生活していて自分もつられてやる気が出てきます。これからもみんなと互いに刺激を受けながら成長していけたらいいなと思います。

一体感

マテリアル・バイオ工学コース1年
五十嵐 慧
(野辺地町立野辺地中学校出身)

高専に入学してあっという間に3か月が経とうとしています。どういう縁か、野辺地町から来た3人が全員同じクラスになったことに、私はとても驚いています。

それはさておき、L3はいつも会話の飛び交う、明るく自由なクラスです。本当に楽しい毎日を過ごしていますが、その自由さ故にクラスのまとまりがまだ足りないように感じます。これからの日常や行事を通し、一体感を生み出せれば、一年間という時間の中でもより沢山の思い出ができるのではないのでしょうか。

新 入 生 紹 介



仲間づくりのためには

L4担任 吉 田 雅 昭

今年のL4は、4月当初から、あいさつも大変よく何事にも熱心で素直な学生が多いと感じます。また、クラス連絡員を中心に、クラスが一丸となって、クラスを牽引している姿も大変好感が持てます。この調子で行くと、成績や自主探究など様々な領域で、充実した1年になりそうな予感がします。担任として、皆さんの成長が今から非常に楽しみです。

さて、高専は、高等学校と異なる高度な教育システムのため、「教育と研究」が同時に行われている世の中で注目されている学校です。皆さんは既にその一員であり、自覚と誇りを意識して、行動をして欲しいと思います。そのため、たとえ1年生であっても、学習や行動に対して自主性が伴っている必要があります。高専では、何事にも受身では通用しないことが、既に十分理解できたはずで、実現可能な小さな目標など計画を立て、継続的な努力をする習慣を身に付けてください。しかし、人間は一人では孤独です。できることにも限界があります。そこで、近年、人間関係すなわち仲間づくりなどのコミュニケーションが重要なテーマとなっております。もしかすると、何事にも目標が達成できない人ほど、仲間づくりが下手なのかもしれません。同時に、自己分析も不足しているかもしれません。自分と向き合うためにも、多くの人とのコミュニケーションを通じて、身の丈にあった努力をすべきです。最近、コーチングやアンガーマネジメント（怒りをコントロールする）などの本を読む機会が増えました。それは、もっと人間関係を円滑にしたいと考えているからです。本では、決して特別なことを述べてはいませんが、自分が変わることの必要性が強く述べられていました。それが、お互いを尊敬し合うことにつながるようなのです。要点としては、お互いの良い点を笑顔で褒めあうことです。笑顔で褒めあうことで良好な人間関係を構築し、より良い高専生活を送れることを大いに期待しています。

元気の塊 L4

マテリアル・バイオ工学コース1年
永 沢 颯士郎
(板柳町立板柳中学校出身)

八戸高専に来て早くも2ヶ月が経ちました。初めは、寮生活や勉強に対する不安、家族と地元の友人と離れることに対する孤独感があり、これから充実した生活を送ることができるのか心配でした。しかし、その心配を見事に吹き飛ばしてくれる人がたくさんいました。

まずは、担任の先生。私の担任の先生は数学を教えている吉田先生です。もし、数学で分からないところがあった時には先生に聞くと、一発で解決します。とても分かりやすく解説してくれるので、とてもお世話になっています。そして、愉快的なL4の仲間たち。頭はとても良いのに、「こいつ、ちゃんと勉強してるのかな？」って思ってしまう人、中には、アマテラスと呼ばれている人もいます。(理由は私も分かりません(笑)。びっくりするくらいの個性派集団ですが、全員が毎日の学校生活を明るく彩ってくれる一員です。そんなみんなのことが私は大好きです。

今後への期待

環境都市・建築デザインコース1年
樋 口 こころ
(佐井村立佐井中学校出身)

私は、今のクラスの人数41名が、全校生徒数とほぼ同じという小さな中学の出身です。八戸高専では何事においても「人の多さ」に驚き、高専生活に慣れるのに苦労しました。それと同時に、私は、これからの生活への期待がどんどん膨らんでいき、楽しみで仕方がなかったです。

いざ、授業が始まってみると、スピードが早く、今まで以上に高度な内容で、難しく感じられ、授業についていくのに精一杯でしたが、たくさんの友達や先輩方に支えられ、今までやってこられています。

最初の到達度試験も終わり、結果も返ってきました。今まで取ったことのない順位にこれからの不安と周囲の人たちとの実力差を感じました。しかし、これからずっとそんな刺激的な人たちと一緒にやっていくことを思うと、わくわくしてきます！高専生活はまだ始まったばかりですが、気を引き締めて頑張っていきたいと思います！

1 学年主任から

克服だから八戸高専がいい

第1学年主任 蝦名 謙一

4月4日（火）午前10時に入学式が厳かに挙行され、165名の新入生を迎えました。

保護者の方におかれましては、朝8:30の受付に始まり、入学式、関係主事の挨拶、コース長との懇談、学級担任との懇談、学生さんと教科書購入と午前中の行事に加え、午後から入寮手続き。節目であり喜びであり、大変疲れた一日であったかと思います。学生さんは、その晩の学寮での新入生歓迎会、次の日は、8:35のSHRに始まり、始業式、対面式、HR、クラス写真撮影、午後からは入学者研修会として、教務・厚生補導・相談室全般についてのお話、図書館利用のガイダンス、健康診断と、学生さんも大変疲れたことと思います。担任も疲れましたが、新しいところで頑張る、頑張らせる保護者と学生さんの深い絆を感じ

ました。学寮の手続きを済ませ、寮務主事のお話も聞き、学生さんの笑顔を見て、「ホッ」としてお帰りになられた保護者の姿がとても印象に残りました。

5年間の高専時代には、いろいろなことがあるでしょう。克服しながら自分自身をよりよく磨き、就職した際には、立派な社会人で、全国のどこかで、これから出会う人を気遣い、元気に活躍してほしいものと願っております。

4学期制導入から3年目、春・夏・冬学期と集中して勉強するスタイル、秋学期には発表会のある自主探究学習と称して「学びとり教育」を目指した探究活動をこなして行かなければなりません。只今、テーマを募っているところであります。

八戸高専に来てよかったと想えるように！

専攻科新入生紹介

専攻科の生活

機械システムデザインコース1年

小笠原 直人

（八戸市立第三中学校出身）

専攻科に入学してから3ヶ月が経ち、実験やテスト、課題の多さに悩まされつつも、充実した日々を過ごせていると感じています。専攻科は本科と違い前後期で授業が進められ、後期は海外研修、エンジニアリングデザイン、インターンシップなど、自分がやりたいことを追求できる機会があります。私は英語力を向上させることを目標として、後期にニュージーランドへの海外研修に挑戦します。専攻科生のニュージーランドへの派遣は今年度が初なので、気が引き締まる思いです。後期が楽しみです。まずは前期のテストと実験を終わらせなければならぬので日々の勉強を怠らずに過ごしていきたいと思っています。

2年間の短い期間ですが、楽しかった本科5年間に負けず劣らずに、専攻科2年間も充実したものにできるよう、日々を過ごしていきたいと思っています。

仲間との絆

電気情報システム工学コース1年

永田 大也

（五所川原市立第一中学校出身）

専攻科は私にとって最高の教育環境です。専攻科に入学し、毎日、課題とレポートをこなすことにより自分自身の圧倒的成長を実感できています。課題を一つ終えるごとに達成感を感じるようになり、時間をとても効率的に使うことができる能力が身につきました。また、クラスの人数が少数であるので非常に密度の濃い授業を受けることができます。居眠りなんてあり得ません。また、専攻科には海外研修があります。三ヶ月間を海外（フィンランド）で過ごすことができるのが一番の楽しみです。

私が一番専攻科に入学して良かったことは仲間との絆です。5年も一緒にいたのに、少人数になって初めて気づきました。自分が分かることを人に教え、分からないことを友人に聞くという助け合いの精神を学べました。仲間との絆を大切に、充実した2年間で皆と過ごして実りある専攻科生活にしたいです。

専攻科新入生紹介

専攻科に入学して

マテリアル・バイオ工学コース1年
関 下 あずさ
(八戸市立東中学校出身)

専攻科に入学してから早くも数ヶ月が経ちました。本科と比べるとクラスの人数が大きく減り、やはりまだ寂しさを感じます。その代わりに全コース同じ教室で受ける授業が増えた為、今まで話したことが無かった他コースの方々と話す機会が少し増えました。また、専門科目の他に一般科目として数学系の科目が増えました。私たちのクラスは久しぶりに線形代数や物理をやっているので少し苦労をしています。

秋学期には企業や大学へのインターンシップや海外留学、課外活動へ参加する機会があり、来年にはもう就職や進学の実験を控えています。その為、とても忙しい年ではありますが勉学や研究に励み、学校生活を楽しみながら過ごせたらと思います。

駆け抜ける二年間

環境都市・建築デザインコース1年
日 脇 陸 生
(野田村立野田中学校出身)

本科を終え、専攻科に入学して既に二か月以上の月日が経ちました。大きな環境の変化はないものの、特別研究やコース実験など忙しい日々を送っています。さらに、一年次ではフランスへの海外研修や大学へのインターンシップが既に決まっています。海外研修ではスキルアップを目指し、自ら積極的に行動し様々なことを学びたいと考えています。また、大学へのインターンシップではより専門的な知識を学ぶとともに、大学院進学に向けて自身の新たな課題を見つけたいと考えています。

この二年間の専攻科生活はきっと忙しくも充実した日々になるでしょう。しかし、自分の意識によって何を学び、何を得られるかは大きく変わってきます。一つひとつやるべきことをしっかり取り組み、後悔しないようにこの二年間を駆け抜けていきたいです。

今年の編入生・留学生紹介

高専に編入して

機械工学科4年
金 澤 拓 人
(十和田工業高等学校出身)

高専に編入して二ヵ月半が過ぎましたが、時間の流れを早く感じています。高校の頃のように上手い出来ないこともありました。友達が社会に出て働いていると思うと、自分も頑張らなければという気持ちになります。

勉強面では、レベルの違いを実感させられました。また、課題も多く、忙しさも増えました。既に到達度試験を行いました。高校の頃のような勉強方法では上手い出来ないことが分かったので、次回に活かしていきたいと思っています。

寮生活では、生活環境の変化にも慣れ、規則正しい生活をおくることが出来ていると思います。学校での生活や寮での生活とともに、人との付き合い方については難しいと実感しました。時間をかけて頑張っていこうと思います。高専に来たからには勉強に遅れないようにしたいです。よろしくお願いします。

高専に編入して

電気情報工学科4年
花 田 大 珠
(五所川原工業高等学校出身)

高専に編入学して二ヶ月半が経ちました。最初、始業式当日にクラスのみんなに自己紹介するものだと思っていましたが、担任にそのまま座っていてと言われ、編入生としての自己紹介がなく、みんなに自己紹介しない状態でどう友人ができるか不安でした。でも、周りの人に恵まれ友人が何人かできました。

高専で今感じていることは、高校と違い授業の進むスピードが速く、授業内容がとても難しいことです。高校でやっていた勉強方法では通用しないなということを春学期の到達度試験で実感しました。このことを踏まえて、夏学期では春学期よりは良い成績をとれるよう頑張っていきたいです。

初めての寮生活は不安でいっぱいでしたが、同室の先輩に励まされ今ではだいぶ慣れてきました。自分の家とは勝手が違うのでルールをしっかり守って楽しい寮生活・学生生活を送りたいと思います。

今年の編入生・留学生紹介

留学生生活

マテリアル・バイオ工学コース3年
デニエル アイゼック ルツ
(マレーシア)

高専に入学してもう3ヶ月経ちました。初めて八戸に来た時、寒さに驚きましたが今はだんだん慣れてきました。初めて授業に出た時、日本の学生に声をかけられてとても嬉しく感じ、先生達も優しく、授業ではいつも詳しく教えてくれました。

今でも勉強に困ることがあれば助けてくれるので感謝しています。春学期が終わり、夏学期に入っただけなのでまだあまり困ることはありませんが、これから生活をしていくことで分からないことが出てくると思います。それでも、最後まであきらめないで頑張りますので、C3の皆さん、よろしくお願いします。

高専の生活

環境都市・建築デザインコース3年
スル ディヤナ ビンティ イブラヒム
(マレーシア)

私の高専の生活は今年の4月に始まりました。今までもう3ヵ月たちましたが、ここの生活にも少しずつ慣れているのに、日本語能力はまだ下手だと思います。それで、授業にも時々分からないこともあります。しかし、チューターとクラスメートが助けてくれて、とても良かったです。

そして、マレーシアからの先輩たちもいるから、日常生活も便利になります。特に宗教と関係があることです。時々、勉強のことも、他のことでも先輩と相談機会はいつもあるから、本当に安心しています。また、彼らも自分の経験によって、いろいろなことを教えてくれて、日常にとっても役立ちました。

留学生として、今の環境はマレーシアとは違っていても、これからも勉強のことも、日常生活でも、全部に頑張りたいと思います。

日本への留学

マテリアル・バイオ工学コース3年
ネンチャー ウドンポン
(ラオス)

去年4月に日本に来ました。ラオスでは日本語を勉強していなかったので、日本に来て日本語が話せず、ひらがなもカタカナも書けませんでした。日本語学校で文法や漢字を1年間勉強してから八戸高専へ来ましたが、入学したばかりの頃は、先生の説明のスピードが早くて全然理解できませんでした。一番困ったのは、実験の時、グループのみんなが何をやっているのか時々分からなくなることでした。実験が終わってレポートを書くのもとても大変でした。しかし、3ヶ月経った今は、先生の説明がだんだん分かるようになってきました。友達と話すことができ、授業も分かるようになってきて楽しいです。これからも頑張りますので、先生、チューターやC3の皆さん、よろしくお願いします。

授業参観日を終えて



教務主事補
本間 哲雄

5月20日(土)の授業参観につきましては、例年より多い194名の保護者の皆様からご参加を頂きました。ご多用中にもかかわらずご参加いただき厚くお礼申しあげます。授業参観を通して、普段の学生の姿や教育方針をご覧いただき、新しい「気づき」の機会であったと存じます。授業参観アンケートには、「満足」「ほぼ満足」との回答を回答者の7割以上の皆様から頂戴しました。また、アンケートでご指摘いただいた事項については、我々教職員にとって新しい「気づき」であります。全ての教職員で情報を共有し、今後の授業改善に役立ててまいります。冬学期の12月11日(月)から15日(金)までにも、保護者の皆様もご参加いただけるオープン授業週間を設定しております。お気軽にご参加いただき、改善を重ねる本校の教育に忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

新任教職員紹介

- ①氏名
- ②出身地
- ③所属・職名
- ④前職

- ① 中 村 泰 朗
- ② 山口県下関市
- ③ 総合科学教育科・助教
- ④ 広島大学大学院博士課程後期

今年度4月に総合科学教育科・助教として着任しました中村泰朗と申します。出身は文学部ですが日本建築の歴史を専門としており、その中でも天守・城門をはじめとした近世城郭建築の復元、寺院・神社建築の細部意匠の変遷について研究を進めています。

八戸高専では一般科目として歴史・現代社会、専門科目として建築系の卒業研究を担当しております。理系の学校ということで文系科目を苦手としている学生も多いようですが、少しでも歴史の面白さ・奥深さを感じ取ってもらえますよう授業方法を工夫・改善して参ります。

まだまだ未熟な点も多くありますが、一日一日を大切にして教育者・研究者として成長できるよう努力いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

- ① 宇 野 裕 之
- ② 愛知県名古屋市
- ③ 学生課長
- ④ 沼津高専学生課長

沼津高専で採用され、国立中央青年の家、静岡大学、豊田高専、鈴鹿高専を経て、26回目の高専での春を迎えたところです。

4学期制を全国に先駆けて取り入れ、教育に効果を上げている八戸高専はどんなところであろうか遠く東海地区から、羨望のまなざしでみていたところ縁あって赴任することが出来ました。

校地は広く平坦で建物は余裕を持って配置されており、数ある高専の中では別格、まるで大学に来ているような感覚を味わっているところです。休日に校内を歩いていると、木々のそよぐ音、小鳥のさえずりなど、こわばった心身が解きほぐされるような心地よさがあります。

微力ではありますが、八戸高専の良い所を伸ばし、教職員、学生、保護者の皆様、高専を応援してくださる多くの方々とともに、より良い学校をめざしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 深 田 浩 一
- ② 秋田県仙北郡美郷町
- ③ 総務課長
- ④ 秋田高専総務課長

4月1日付けで総務課長として着任しました深田です。秋田高専から参りました。

秋田高専の前は弘前大学におりましたので、青森県には、ご縁があったと思います。日本海から太平洋。八戸とは、かなり遠くに感じておりましたが、交通の便にも恵まれ、若者も多く見受けられ、また、青森放送、岩手放送、2県の放送が普通に受信、天気予報など広く参考になります。海と緑多き、自然豊かな八戸。様々な視点より、のびのびと発信、発展する元気な街と感じました。

八戸高専に来て一番に感じたことは、COCをはじめとした様々な事業や学術交流など積極的に推進し、地元企業も数多く集まってきており、活気がある高専だと思いました。これから微力ではございますが一生懸命頑張っ参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 成 田 誠 康
- ② 青森県北津軽郡鶴田町
- ③ 総務課職員係・一般職員
- ④ ヤフー株式会社 八戸センター

4月28日付けで採用になりました、成田と申します。青森県内の大学を卒業後、商工団体職員、IT企業での編集業務などを経て、八戸高専に採用いただきました。

生まれも育ちも津軽地方ですが、こちらに採用になる1年ほど前から八戸には住んでおりましたので、美味しい海産物や風光明媚な種差海岸など、八戸の文化には多少なりとも慣れ親しんでおりました。

採用されて2ヶ月近く経ちますが、まだまだ知らないことも多く、新しい経験を積ませていただいている毎日です。社会人経験は8年ほどですが、八戸高専では新卒社員のような気持ちでがむしゃらに、学生や教員のみなさまのお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。まだまだ至らない点多々あるかと思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

八戸高専と一関高専の違い

電気情報工学コース助教 鎌田 貴晴

平成27年度に人事交流で岩手県の一関高専に1年間勤務してきました。お隣の県ですが、校長先生が高専出身の方だったことから学校の雰囲気は異なり、いくつかの点で違いもみられ、貴重な経験をすることができました。ここでは、そのいくつかを紹介したいと思います。

学生は1年生から私服で、始業式等も全員私服で参加でした。朝のSHRはなく、連絡は基本、掲示とメールでされます。集会のときには椅子を持ち込むことなく参加し、最初に生活指導の怖い先生が皆を静かにさせていました。一関では学生委員を担当しましたが、生徒会の学生と一緒に月2回の登校指導や週1回は昼休みに各教室（居ないことを確認してトイレも）を中心に校内巡回も行いました。

寮では1年生はどれだけ離れていても先輩を見

かけた場合、必ず大きな声で挨拶をします。また、指導寮生はフロアの学生が騒ぎすぎて迷惑を与えた場合などには寮点を与える権限をもっていたので、規律が保たれている印象を受けました。また、朝食はパンとご飯を選択することができます。パンの場合には6種類の中から2つ選択することができます。ホテルにあるような回転トースターもありました。また、バター、ジャム、ふりかけ、温泉たまご、焼きのり等も選択できる上に、コーヒーも用意されています。21時までは寮母さんもいます。教員よりも寮母さんの方が厳しいので、学生は寮母さんには逆らえないようでしたし、色々なことを相談できる存在でした。

一関のロボコンは東北の強豪校です。ルール分析をしっかりとっていて、アイデアの重要性を改めて感じました。また、シンプルな構造での製作を大事にしているので、完成時期が非常に早く、試合を想定したテスト・改良を重ねる時間が確保でき、完成度の高いマシンを作っていました。

なお、翌28年度からは一関でも学修単位が導入されましたが、17時には部活動は終了する形であるので、学修単位で増加した課題に取り組む時間が学生に与えられる形になっているようです。

COC/COC+の紹介

COC/COC+計画立案室長 齊藤 貴之

本校では、「青森の資源や人財のコンピテンシ育成拠点プログラム」が、平成26年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業（COC）」に採択されました。COCは平成26年度から5年間の事業で、今年度は4年目となります。

COCの目的は、人口減による地域衰退に対し、大学等が地域の拠点となり、学生に地域課題を認知させ、課題解決に向け主体的に行動できる学生を育てることです。また、平成27年度からは、新たに「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」が立ち上がり、地域課題の認識の他に、学生の地域定着を目的とする事業に発展しています。人口減社会では、高専も変革する必要がある、国の予算を使い様々な事業を行っています。

今年度、COCでは、「教育」、「研究」、「社会貢献」の3分野毎に様々な事業が予定されております。「教育」分野では、「田面木塾」など8つの「地域志向ものづくりカリキュラム」、「研究」分野では、「ゼオライト混合コンクリートによる汚染対策材料の開発」など6つの「地域課題解決型研究開発

プロジェクト」、「社会貢献」分野では、「化学の学校」など多数の「公開講座」や「出前授業」を計画しています。さらに、12月16日（土）には、八戸市内の「ラピア」を会場に、「まちなか文化祭」を実施します。様々な出前授業や部活動の紹介等を行う予定です。

また、COC+では、学生の地域定着を目的とした「あおもりの企業の魅力を再発見する企業説明会」を9月に、また、学生のアイデアからイノベーションをめざす「イノベーション・ベンチャー・コンテスト2017」を12月に実施します。昨年度のコンテストでは、大学生も参加する中から、本校の1年生がグランプリを獲得しています。

以上、COC/COC+では、学生の視点を地域に向けさせる幅広い事業があり、成果をあげるべく全学的に活動しています。事業によっては一般参加も可能ですので、皆様、奮ってご参加下さい。また、本校HPにも、COC/COC+の成果や最新情報が載っていますので、こちらもお覧下さい。

厚生補導委員会より

学生主事 河村 信治

厚生補導委員会は、本校において学生支援と学生指導を担当します。具体的には、生活指導全般、クラブ活動等課外活動や学生会活動、行事等の監督、奨学金申請のサポート等の業務であり、学生生活の安心と安全の保障が主要な任務です。

本校での自主探究学習の取り組みも3年目となり、またCOCで高等教育機関と地域との連携が促されています。学生のみなさんには、地域やグローバルな社会に関心を持ち、積極的に社会参加することが求められています。18才からは立派な有権者でもあります。勉強と部活の両立に加え、ソーシャルスキルや公共意識を高めて市民としての責任を自覚し、社会に目を向けてください。

●「あいさつ」から

圓山校長先生が、着任早々の始業式に校内外での「挨拶」の促進について呼びかけました。さまざまな局面で問われる「コミュニケーション」と「ソーシャルスキル」の起点が挨拶であり、異文化間の交流のきっかけをつくる、場合によってはトラブルを避ける、たいへん重要にして有益な作法です。しかもこれは能力以前の心がけと習慣の問題です。意志疎通の循環は、社会集団内のストレスを緩和します。挨拶を軽んじることなかれ。

●朝の登校指導から

厚生補導委員会では不定期に朝の登校指導を実施します。通学時に構内ロータリー周辺での混雑や接触事故等を防ぐため、自動車での入出レーンおよび停車（下車・乗車）場所を今年から明示しておりますので、クルマでの送迎の際はこれをお守りいただくようお願いします。また少なからぬ学生が自転車を利用していますが自転車の管理（技術系なのに！）と利用マナーがあまり感心できません。国内では今年5月に自転車活用推進法が施行されましたが、利用者と技術者の目線を持って、被害者にも加害者にもならないよう、交通社会の改善を担ってください。

●あいかわらずネット上のトラブル

交通と構図的に似ているのが情報の問題で、技術

的に発達したネットワーク社会に、ルールとマナーが追いついていません。TwitterやLINE等SNS上でのトラブルが相変わらず発生しています。仲間内での他愛ない愚痴や冗談のつもりが世界に公開され、簡単に通報されたり「炎上」したり、何年も経ってから不利益を招いたりする危険性をよく認識してください。「いじめ」がネット上で増幅されるなど言語道断です。低学年生は高校と同様に平日校内での携帯電話等の使用は制限されていますが、夏季休暇や秋学期中は自己管理をしっかりとしましょう。スマートフォンに依存し過ぎず、トラブルを起こさず、巻き込まれないようくれぐれも注意してください。

●課外活動（部活）関係

・部活等の課外活動は人間力を高め、キャリアの上でも有益なものとして本校でも奨励しています。しかし何事もバランスが大事です。本校では昨年度中から日曜日の部活を制限していますが、高専機構からは週2日の部活の休みをとるよう促されています。限られた時間を守り、メリハリをつけて効率的に部活に励み、ちゃんと休養もとって、学生なりのワークライフバランスに気を遣って下さい。

・6月30日～7月2日、平成29年度東北地区高専体育大会が開催されました。今回から東北地区大会は各高専キャンパスでの分散開催となり、今年度は卓球（長根体育館）とラグビー（秋季開催）が本校主管となっています。結果、その卓球が団体戦で27年ぶりの優勝。ほか団体では男子バレーと女子バスケットボールが見事優勝しました。その他の結果詳細は八戸高専HPをご覧ください。

・夏合宿は今年も学寮を利用して実施予定です。なお、合宿宿直の外部委託費、期間中の光熱費、給食費（朝・夕、弁当）については利用者負担になります。1日あたりの合宿費用の算定が決まり次第、合宿を実施する各部活に周知いたしますのでご留意ください。

●高専ロボコン2017東北地区大会

今年10月1日（日）には、アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017東北地区大会が、八戸市東体育館で開催されます。高専ロボコンとして第30回の節目の大会です。当日はぜひ会場に足をお運びになっての応援を歓迎いたします。

北辰寮より

北辰寮寮生会活動報告

寮務主事補 新 井 宏 忠

1. ごみゼロ運動実施

4月16日、今年度ははじめのごみゼロ運動に参加しました。厚生委員会・衛生委員会・リサイクル委員会を中心に、早朝から学校周辺の清掃活動を行いました。今年度初ということで、新委員をはじめ、特に1年生の委員にとっては入寮してからすぐに早朝の清掃活動であったこともあり、大変であったと思います。今年度は寮生会活動の活発化を図っていますが、委員長の取り仕切りと委員一人一人の活動の甲斐あり、普段の清掃が行き届かない場所もきれいになりました。

寮内に限らず、寮外に出て地域の活動に参加することで、寮生といえども地域住民の一人であることを自覚する機会になると思います。寮での暮らしでは、学校と寮の行き帰りのみで、学校の敷地内だけで完結してしまう生活になりがちです。そのため、学校が地域から切り離された世界のように感じ、考え方や振る舞いが社会からずれてしまいます。このような活動は地域社会との接点を持てる機会であるので、引き続き活動を継続していきたいと思います。また、この活動を通じて寮生が少しでも広い視野、考えを養成することを期待します。



2. 第53回北辰寮祭について

去る6月9日、10日と北辰寮祭が開催されました。寮祭実行委員会を筆頭に、多数の寮生の協力と参加により、成功裏に終えることができました。

低学年生から高学年生まで混じっての共同作業は良いコミュニケーションの場になると同時に、すでに顔見知りの寮生でも新たな一面を見られた機会になったのではないのでしょうか。

今年度の反省を踏まえつつ、来年度はさらに良くなった寮祭が開催されるよう心掛けたいと思います。

北辰寮祭を終えて

寮祭実行委員長

物質工学科 4年 山 田 皓 大

今年の寮祭は天気恵まれませんでしたでしたが、様々な人の協力のもと無事寮祭を終えることができ、ほっとしています。

寮祭は金曜日の夜に行われる「北辰ラジオ」から始まりました。私自身ラジオ局員ということもあり楽しく参加させていただきました。ラジオが終わり、日中からは赤レンガ広場で各クラスの露店、音楽部のライブや様々な企画がありました。どこのクラスの人でも笑顔で楽しそうにしているのを見て、見ている私も嬉しくなり笑顔になりました。また露店、企画を通じて先輩後輩とのつながりが増えたという声もたくさん聞きました。更に留学生との交流も見られ、異文化とも触れ合える良い機会になったと思います。

日中の企画が終わった後は寮祭の目玉の夜祭です。1年生から5年生まで漫才やダンスなどをやっていただきとても楽しませてもらいました。その後は北辰ラジオが放送されて寮祭が締めくくられました。

今回、実行委員長をやり実感したことは、様々な人が協力し寮祭が成り立っているということです。模擬局、用度局などの裏方には影ながら頑張っていたいただきとても感謝しています。

最後に、今回寮祭に来てくださった皆様、携わってくれた先生方や生徒の皆様、本当にありがとうございました。来年も素晴らしい寮祭にしていきたいのでご協力よろしくお願いします。

就職・進学状況について

就職担当幹事

産業システム工学科長

釜谷 博 行

1. 現在の進路状況

今年度の本科5年生および専攻科2年生の6月15日現在の進路状況を表1および表2に示します。求人社数の傾向は、本科、専攻科ともに物質工学科が昨年同時期と比べて増加傾向にあります。一方、機械工学科、電気情報工学科および建設環境工学科は同程度のようです。求人倍率はどの学科も大変高く、高専生に対する企業からの期待の高さがうかがわれます。実際、高専生を優先的に採用している企業も多いと聞いております。

現在の本科全体の就職・進学希望者の割合は、就職が60%、進学が40%です。昨年同時期と同様の傾向になっています。一方、専攻科全体の割合は、就職が52%、進学が48%です。昨年度の進学率の56%からは減少しましたが、それでも一昨年並みの割合となっています。

2. 今年度の就職活動、進学希望者の状況

日本経済団体連合会（経団連）の2018年入社対象の「採用選考に関する指針」によると、17年入社対象の対応を維持し、指針や手引きの変更は行わないとのこと。このため、昨年度同様に、企業の広報活動は3月1日以降、選考活動は6月1日以降、正式な内定日は10月1日以降となっております。今年度も内々定は6月に入ってから出るにしても、実質4月から面談等が始まり、5月連休前後が合否の最初のピークになりました。現在、就職希望者の約8割の学生の進路が決まっている状況です。進路が未定の学生の多くは公務員志望で、これからの選考試験に向けて準備をしているところです。

進学に関しては、本校専攻科の推薦試験は5月下旬、学力試験は6月下旬に行われました。大学編入学試験は、早いところは6月下旬から7月中旬にかけて、遅くとも8月下旬から9月上旬にかけて実施されます。学力試験では、日程が重ならない限り何校でも併願できることが高専の利点です。進学希望者は、第1希望の大学を目指して受験勉強を進めているところです。

3. 進路を決めるにあたって

経団連によると19年入社対象（現4年生、専攻科1年生）についても18年の指針を維持するようです。就職活動時期も今年度と似たような傾向になるものと思われます。就職希望者は何百社という企業の中から自分の希望する企業を選択しなければなりません。就職試験には推薦応募と一般応募があります。本科は概ね学校推薦を利用します。

合格率が比較的高く、受験に必要な旅費などの経費も会社が負担してくれますが、併願できません。また、合格した場合には辞退できません。そのため、企業研究をしっかりとすることが大切となります。これには、就職情報検索システム（データベース）を是非活用して下さい。本校に送られてきた求人情報を検索することができます。9月23日にはCOC+八戸ブロック事業の「あおり県企業内容説明会」が、また、来年3月1日には本校独自の「企業内容説明会」が開催されます。企業研究を行う絶好の機会ですので、企業の方々と積極的に会話をするようにして下さい。3月に見学会を実施する企業もあるので、ミスマッチを避けるために是非利用して下さい。

進学を考えている人は、早い時期に志望大学のオープンキャンパスに参加すると良いでしょう。大学の雰囲気を感じることができ、受験勉強にプラスの効果をもたらしてくれるのではないのでしょうか。

最後になりますが、部活動や学生会、各種委員会などの課外活動へも積極的に継続的に参加して自分を磨き、その経験を面接等で堂々と語れるような学生生活を送って欲しいと思います。

表1 本科進路状況（6月15日現在）

学 科		M	E	C	Z
卒業予定者数		35(3)	35(7)	44(29)	40(12)
就 職	希望者数	26(3)	16(2)	25(17)	24(10)
	求人社数 (昨年同時期)	629 (636)	658 (679)	424 (388)	446 (442)
	求人倍率	24.2	41.1	17.0	18.6
進学希望者数		9	19(5)	19(12)	15(2)

()女子内数

表2 専攻科進路状況（6月15日現在）

コ ー ス		AM	AE	AC	AZ
修了予定者数		8	6(1)	10(4)	7(2)
就 職	希望者数	4	3(1)	4(1)	5(2)
	求人社数 (昨年同時期)	504 (494)	526 (529)	334 (300)	370 (371)
	求人倍率	126.0	175.3	83.5	74.0
進学希望者数		4	3	6(3)	2

()女子内数

平成29年度 国際交流活動計画

国際交流センター長 阿 部 恵

☆グローバル高専☆

平成29年度、本校は「グローバル高専」2年目となり、東北地区・北海道地区の高専の拠点校として高専のグローバル化を引き続き拡大する立場にあります。グローバル高専事業として、教員対象のアリゾナ大学研修（英語による専門科目の授業）、学生対象のオンライン英会話、異文化コミュニケーションワークショップ、フォーラム等を予定しています。学生のみなさんはぜひ積極的に参加してください。

グローバル社会では専門能力や英語力の他に、積極性、自立性、チームワーク力、柔軟性、社交性等が求められます。学生の皆さんが国際社会で活躍できるエンジニアを目標に、国際交流活動に積極的に参加して、英語をツールとしてコミュニケーションができる能力と、グローバル・コンピテンシーを身につけることを期待しています。

グローバル高専事業の一つの目標に、英語力向上があり、本校で英検の団体受験（一次試験のみ）やTOEICの受験を実施しています。

平成29年7月から平成30年2月まで、英国人のトーマス先生が図書館2階のゼミナール室で、学生の英語指導（英検対策、TOEIC対策、プレゼンテーション指導等）をします。

ゼミナール室の前の予定表に名前を書いて積極的に指導を受けてください。

☆留学生紹介☆

平成29年度は3名の留学生が本科3年に編入しました。

マテリアル・バイオ工学コース ポーン君
ラオス（国費）

マテリアル・バイオ工学コース デニエル君
マレーシア（マレーシア政府派遣）

環境都市・建築デザインコース ディヤナさん
マレーシア（マレーシア政府派遣）

これから3年間、本校で学びます。4月の弘前のお花見、5月のBBQパーティ等に参加して、日本人の学生と交流を深めています。みなさん、よろしく願いいたします。



平成29年4月22日 留学生との交流 弘前城公園にて

☆留学生ジャンボリーの開催☆

今年は青森県留学生ジャンボリーの担当校が八戸高専です。例年、弘前大学や青森中央学院大学などから50名近い留学生が集まり、一泊二日の日程で行います。出身国は、中国・韓国・ベトナムなどです。10月に開催を予定しています。

☆平成29年度学生受入・派遣予定☆

今年4月から6月まで、フランス（リールA技術短期大学）から4名の学生が本校で研究を行い、6月21日に発表会を実施しました。フランスから5名の教員が来校して、評価を行いました。

今年度も海外インターンシップ及び海外派遣を予定しており、下記の教育機関に学生を派遣予定です。

	日程（予定）	交流国・大学等名	対象学年	対象人数	期間	奨学金等
学 生 受 入	4/6～6/30 11/1～1/31	フランス リールA技術短期大学 他		4 1	約 3 ヶ 月	JASSO 奨学金 80,000 円／月
学 生 派 遣	8/7～8/18	アメリカ ウェナッチパレー大学	本 科 3 年	2	約 2 週 間	三沢市
	8/29～11/3	フィンランド トゥルク応用科学大学	専 攻 科 1 年	1	約 2 ヶ 月	JASSO 奨学金 80,000 円／月
	8/23～9/10	ニュージーランド オタゴ・ポリテクニク	本 科 3 年	2	約 20 日 間	高専機構本部
	8/28～9/9	中国 大連東軟信息学院	本 科 5 年	2	約 2 週 間	大連短期留学プログラム 2017 夏
	8/18～8/28	フィンランド トゥルク応用科学大学	専 攻 科 1 年	1	約 10 日 間	ISTS2017
	9/28～2/28	ニュージーランド オタゴ・ポリテクニク 他	専 攻 科 1 年	1	約 5 ヶ 月 （ 予 定 ）	トビタテ JAPAN
	9/28～11/13	ニュージーランド オタゴ・ポリテクニク	専 攻 科 1 年	2	約 3 週 間	JASSO 奨学金 70,000 円／月
	9/6～11/30	フランス リールA技術短期大学 他	専 攻 科 1 年	10	約 3 ヶ 月	JASSO 奨学金 80,000 円／月
	9/13～9/28	シンガポール テマセクポリテクニク	本 科 1 ～ 3 年	13	約 2 週 間	青森県教育庁補助金 17 名 60,000 円／月
			本 科 3 ～ 5 年	17		JASSO 奨学金 7 名 100,000 円／月
	8/20～9/10	モンゴル 新モンゴル高専	本 科 1 ～ 3 年	12	約 3 週 間	青森県教育庁補助金 60,000 円／月
	10 月	中国 大連交通大学 他	専 攻 科 1 年	3	約 2 週 間	

相談室から

相談室長 矢口 淳一

相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラーによる支援を行ってきています。精神科医も下記のように定期的に来校していますので、保護者の皆様も**お気軽にご相談ください**。

青年期に発症する精神疾患が疑われる場合やうつ状況など、何かしらの異変を感じたり、異変に関する情報を得たら、担任や相談室関係者等にご相談ください。**早期の対応が大切です**。

小中学校で発達障害等の診断を受けている場合や、発達障害等が疑われる場合で支援が必要と思われる際にはお知らせください。障害を理由とする差別の解消に関する相談窓口を設けておりますので、ご相談の上支援チームを組むなど、適切に対応していきます。

いずれの場合も**秘密は守られます**。

相談室では、学生達が積極的な人間関係づくりができるように努めていきます。

相談室の担当は次の通りです。

◎カウンセラーと主な担当曜日

笹 博 (医師・ささクリニック院長)
第2・4水曜日 担当
中西 智子 (臨床心理士)
第3・5水曜日 担当
坂本 玲子
(産業カウンセラー・スクールカウンセラー)
第1木曜日 担当
石川 善子 (臨床心理士)
第2・4木曜日 担当
土屋 文彦 (臨床心理士)
第1金曜日・第2火曜日 担当

詳しくは、窓口にお問い合わせください。

校内に「カウンセラー来校日のお知らせ」ポスターも掲示しています。

◎インターカー (窓口)

榎本 恭子 (看護師、保健室)
電話 0178-27-7236

◎相談員

各コースの教員を配置し、懇話室に日替わりで

詰めています。夏学期の懇話室担当日は次の通りです (授業日の16:00～17:00)。

月曜日：山本 歩 電話 0178-27-7291
(副室長、マテリアル・バイオ工学コース)
火曜日：矢口 淳一 電話 0178-27-7305
(室長、環境都市・建築デザインコース)
水曜日：井関 祐也 電話 0178-27-7265
(機械システムデザインコース)
木曜日：戸田山みどり 電話 0178-27-7260
(総合科学教育科)
金曜日：鎌田 貴晴 電話 0178-27-7278
(電気情報工学コース)

◎教職員向け相談員

ゼミナール棟1階第1ゼミ室に詰めています。主に教職員のためですが、**学生でも相談できます**。

火曜日15:00～17:00
今野 恵喜 相談員 (名誉教授)
水曜日13:00～15:00
工藤 隆男 相談員 (名誉教授)
木曜日15:00～17:00
平川 武彦 相談員 (名誉教授)

☆学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0120-50-24-12もあります。(受付時間:24時間365日)

□これまでの取り組みとこれからの予定

1. 構成的グループエンカウンターの実施 (1年生) <4月下旬>
人間関係づくりや思いやりのある学級づくりに効果が期待される取り組み
 2. 第1回「こころと体の健康調査」の実施 (全学生) <5月下旬>
学生のメンタルの不調をいち早く把握し、必要に応じ精神科医やカウンセラーなどによる専門的な面談を実施するなど、学生の自殺を未然に防ぐ取り組み
 3. Q-U (Questionnaire-Utilities) 検査の実施 (1, 2, 3年生) <6月中旬>
学級運営や学生個人の支援に生かす取り組み
- ※ **1年生対象の「話してみよう! 1分間」は7月に実施の予定**。
学生が相談しやすくなり、しかも相談できる相手の選択肢を広げる取り組み



男女共同参画委員会から

あえて、空気を読まない

図書館長：工 藤 憲 昌

男女共同参画委員長

戸田山 みどり

今年度の図書館の活動については次の事を計画しています。

<交流室の積極的利用の促進>

昨年に引き続き、授業、公開講座、メンター制度、学生の自由な学習エリア等、多用途に使用して頂けるアクティブラーニングエリアとしての積極的な利用を促進します。

<読書習慣を身に付けるための各種行事の充実>

- ・ブックハンティング
- ・ビブリオバトル
- ・ニュースレターの発行（6月発行）
- ・学生会図書委員会の活動支援

<学外行事への参加>

- ・青森県高等教育機関図書館協議会総会
（八戸高専、7月13日）

<図書館ホームページの管理・更新>

- ・図書館統計の公表など

<その他>

- ・自主探究学習の支援

八戸ブックセンターとの連携「ひと棚選書」

本のまち八戸推進の拠点施設「八戸ブックセンター（H28秋に開設）」内に「ひと棚」を設置し、来館者の「本との出会い」創出の試みとして、市内の高等教育機関の教員が推薦する書籍が、3カ月間交代で常設ブースに陳列されます。

ビブリオバトル（Bibliobattle）

輪読会、読書会、または勉強会形式で「知的書評合戦」とも呼ばれます。発表参加者が面白いと思った本を持って集まり、本を数分程度で紹介し、参加者全員で発表に関するディスカッションを行います。最後に、どの本が一番読みたくなったかを投票し、最多票を「チャンプ本」とします。

高専の5年間（専攻科2年をあわせれば7年間）は人格の形成期にあると言ってよいでしょう。発達心理学的には思春期から青年期のアイデンティティの確立期であり、社会の中での自分や、他者との関係性のもちかたについて模索する時期でもあります。べつの見方をすれば、他者とのコミュニケーションの取り方を学ぶ時期でもあります。

そのため、本校では3年生と4年生に「コミュニケーション」という授業が用意されています。ここでは、学習や研究、将来の社会人としての生活に必要な文章の読み方や書き方・プレゼンテーションの方法などのほか、コミュニケーションをするとはどういうことか、という根本的な問題にも目を向けてもらうことにしています。

コミュニケーションをごく単純にモデル化すると、話し手から受け手への一方通行をイメージすると思います。あるいはその反応を含めた往復運動に見えるかもしれません。けれども、よく考えてみると、コミュニケーションが成り立つのは、受け手の側がそのメッセージを受け取ったときなのです。そして、キャッチボールとは違い、現実のコミュニケーションでは話し手が投げたつもりがなくても、心に思ったことが伝わってしまうことが少なくありません。ときには、最初からそのことを意図して、言葉で言わなくても理解してもらえると考えている人もいます。最近有名になった「付度」ということばで言い表されるような状況です。これができないとKY（空気が読めない）といって非難される、という場合もあります。

さて、困ったことに、この「言わなくてもわかるよね」という状況が、男女共同参画（英語では「性別における平等」です）を推進する上でも障害になっています。「女性だから～であるはず～するべき」という前提は、無意識のうちに男性だけでなく女性の思考も縛っていると思います。

でも、そろそろ、そのような「空気を読む」ことは考え直しませんか？相手の気持ちが理解できない人はたしかに困り者ですが、わかったうえで無視したほうがよいものも、たくさんあるのです。

第70回 青森県高総体結果

競 技 種 目	会 場	結 果	備 考
【団体の部】			
男子バスケットボール	東奥義塾高校	初戦敗退	
女子バスケットボール	弘前南高校	初戦敗退	
男子バレーボール	八戸工業高校・八戸高校	2回戦敗退	
女子バレーボール	八戸東高校	1回戦敗退	
ソフトテニス（男子団体）	新青森県総合運動公園テニスコート	2回戦敗退	
ソフトテニス（女子団体）	新青森県総合運動公園テニスコート	1回戦敗退	
卓球（男子団体）	五所川原市民体育館	ベスト8（準々決勝敗退）	
卓球（女子団体）	五所川原市民体育館	2回戦敗退	
柔道（男子団体）	スポカルイン黒石	決勝トーナメント進出	
サッカー	新井田運動公園多目的広場	初戦敗退	
バドミントン（男子団体）	マエダアリーナ	1回戦敗退	
ハンドボール	野辺地町立体育館	2回戦敗退	
【個人の部】			
陸上競技：(400m)	青森県総合運動公園	ケガにより棄権	水 口 広 太
陸上競技：(800m)	青森県総合運動公園	予選敗退 (2'26"05)	米 田 練 太 郎
陸上競技：(1500m)	青森県総合運動公園	予選敗退 (4'40"02)	渡 場 誠 史
陸上競技：(1500m)	青森県総合運動公園	予選敗退 (4'50"44)	藤 島 烈
陸上競技：(800m)	青森県総合運動公園	予選敗退 (2'41"77)	宮 珠 莉
ソフトテニス	新青森県総合運動公園テニスコート	男子：1ペア4回戦敗退	
ソフトテニス	新青森県総合運動公園テニスコート	1ペア3回戦敗退	
ソフトテニス	新青森県総合運動公園テニスコート	2ペア2回戦敗退	
ソフトテニス	新青森県総合運動公園テニスコート	2ペア1回戦敗退	
ソフトテニス	新青森県総合運動公園テニスコート	女子：1ペア3回戦敗退	
ソフトテニス	新青森県総合運動公園テニスコート	2ペア2回戦敗退	
卓球：男子(シングルス)	五所川原市民体育館	2回戦敗退	上 野 陸 斗
卓球：男子(シングルス)	五所川原市民体育館	2回戦敗退	原 颯 杜
卓球：男子(シングルス)	五所川原市民体育館	2回戦敗退	森 岩 昂 弘
卓球：男子(シングルス)	五所川原市民体育館	1回戦敗退	小 川 大 智
卓球：男子(シングルス)	五所川原市民体育館	1回戦敗退	齋 藤 皐 滉
卓球：男子(シングルス)	五所川原市民体育館	ベスト32（3回戦敗退）	畑 中 亮 祐
卓球：女子(シングルス)	五所川原市民体育館	2回戦敗退	中 山 美 優
卓球：男子(ダブルス)	五所川原市民体育館	1回戦敗退	森 岩・齋 藤
卓球：男子(ダブルス)	五所川原市民体育館	2回戦敗退	畑 中・原
卓球：男子(ダブルス)	五所川原市民体育館	1回戦敗退	中 山・中 村
柔道：男子100kg超級	スポカルイン黒石	ベスト8	野 田 裕 太
柔道：女子	スポカルイン黒石	ベスト8	赤 石 知 観
水泳：男子50m自由形	鯺ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	松 川 和 磨
水泳：男子200m個人メドレー	鯺ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	松 川 和 磨
水泳：男子100mバタフライ	鯺ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	決勝4位	嵯 峨 駿 佑
水泳：男子200mバタフライ	鯺ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	決勝6位	嵯 峨 駿 佑
水泳：男子100mバタフライ	鯺ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	中 村 祐 太
水泳：男子200mバタフライ	鯺ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	決勝8位	中 村 祐 太
水泳：女子50m背泳ぎ	鯺ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	決勝1位	梶 本 知 里
水泳：女子100m背泳ぎ	鯺ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	梶 本 知 里
バドミントン（男子S）	マエダアリーナ	1回戦敗退	赤 坂 綾 斗

第54回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

平成29年6月30日（金）～7月2日（日）

団体の部（全成績）

競技開催校	競 技 名	大 会 会 場	男 子	女 子
鶴 岡 高 専	陸 上 競 技	小真木原陸上競技場	第3位	第3位
	バ レ ー ボ ー ル	小真木原総合体育館 櫛引スポーツセンター	優 勝	予選リーグ 敗退
秋 田 高 専	サ ッ カ ー	あきぎんスタジアム SPDF 八橋健康広場	第4位	
	バ ド ミ ン ト ン	秋田県立体育館	一回戦敗退	
一 関 高 専	ソ フ ト テ ニ ス	一関運動公園テニスコート	予選リーグ 敗退	
	柔 道	一関武道館	準優勝	
八 戸 高 専	卓 球	八戸市体育館（長根体育館）	優 勝	
仙 台 高 専 （ 広 瀬 ）	硬 式 野 球	宮城広瀬球場 名取市民球場	一回戦敗退	
	ハ ン ド ボ ー ル	宮城野体育館	第3位	
仙 台 高 専 （ 名 取 ）	テ ニ ス	川内庭球場	予選リーグ 敗退	
	剣 道	宮城県武道館	第7位	第3位
福 島 高 専	水 泳	上荒川公園いわき市民プール	第5位	第4位
	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	上荒川公園総合体育館	準優勝	優勝

※全国大会団体出場競技

競 技 名	全国大会会場	全国大会日程
バ レ ー ボ ー ル 男 子	大田区総合体育館	8月18日（金）～19日（土）
柔 道	長岡市市民体育館	8月26日（土）～27日（日）
卓 球	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	8月19日（土）～20日（日）
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 女 子	ホワイトリング（長野市真島総合スポーツアリーナ）	8月26日（土）～27日（日）

個人の部

競技名	種目名	コース・科年	氏名	成績	全国大会日程
陸 上 競 技	※男子 400 m	M 2	水 口 広 太	第2位	8月26日（土） ～27日（日） 松本平広域公園陸上競技場
	※男子 110 m H	E 1	對 馬 惇 史	第3位	
	男子 3000 m SC	C 4	小 山 浩 亮	第2位	
	※男子走幅跳	E 4	高比座 海 斗	第3位	
	※男子三段跳	E 4	高比座 海 斗	第2位	

第54回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

個人の部

競技名		種目名	コース・科年	氏名	成績	全国大会日程
陸上競技		※男子砲丸投	M 2	井 筒 将 大	第3位	8月26日（土） ～27日（日） 松本平広域公園陸上競技場
		※男子やり投	M 2	井 筒 将 大	第3位	
		男子4×100 mリレー		川 渡 ・ 高 比 座 桑 木 ・ 土 佐	第3位	
		男子4×400 mリレー		水 口 ・ 山 田 高 比 座 ・ 田 尻	第3位	
		※女子800 m	Z 2	宮 珠 莉	第2位	
		女子800 m	C 5	前 川 由 貴	第3位	
		女子4×100 mリレー		中 島 ・ 宮 畑 中 ・ 津 村	第3位	
		女子走高跳	C 4	津 村 舞 奈	第1位	
		※女子砲丸投	C 4	横 浜 希	第1位	
		女子円盤投	C 4	横 浜 希	第1位	
柔道		男子90 kg級	C 1	沼 山 朋 生	第3位	8月26日（土） ～27日（日） 長岡市市民体育館
		※女子	Z 1	赤 石 知 観	第1位	
卓球		男子シングルス	M 2	原 颯 杜	第3位	8月19日（土） ～20日（日） ひたちなか市総合運動公園総合体育館
	※男子ダブルス	Z 3	畑 中 亮 祐	第2位		
		M 2	原 颯 杜			
	女子ダブルス	Z 3	中 山 美 優	第3位		
		Z 3	中 村 晴 菜			
テニス	女子個人戦ダブルス	E 4	杉野森 恵 衣	第3位		
		Z 4	田 澤 身友希			
水泳		※男子200m バタ	M 2	嵯 峨 駿 佑	第2位	8月26日（土） 栃木県立温水プール館
		※男子100m バタ	M 2	嵯 峨 駿 佑	第2位	
		※男子200 m個人メドレー	C 2	松 川 和 磨	第3位	
		女子100 m背泳ぎ	Z 3	桃 本 知 里	第2位	
		女子100 m背泳ぎ	E 4	松 浦 珠 絵	第3位	

※印 全国大会出場者

学 生 表 彰

○学年学業成績優秀賞

氏 名	出 身 中 学 校	進 級 後 ク ラ ス
【1年次成績部門】		
柳 沢 啓 斗	八 戸 市 立 島 守 中 学 校	機械システムデザインコース2年
山 地 龍 生	八 戸 市 立 白 山 台 中 学 校	電気情報工学コース2年
三 浦 菜々美	八 戸 市 立 三 条 中 学 校	マテリアル・バイオ工学コース2年
長 内 悠 真	八 戸 市 立 大 館 中 学 校	環境都市・建築デザインコース2年
【2年次成績部門】		
渡 場 誠 史	洋 野 町 立 中 野 中 学 校	機械システムデザインコース3年
三 浦 拓 弥	八 戸 市 立 三 条 中 学 校	電気情報工学コース3年
小 林 瑠 那	滝 沢 市 立 滝 沢 南 中 学 校	マテリアル・バイオ工学コース3年
織 笠 歩 夢	三 沢 市 立 第 三 中 学 校	環境都市・建築デザインコース3年
【3年次成績部門】		
軽 米 健 成	八 戸 市 立 下 長 中 学 校	機械工学科4年
東 山 聖 生	五 戸 町 立 倉 石 中 学 校	電気情報工学科4年
中 村 圭 吾	八 戸 市 立 根 城 中 学 校	物質工学科4年
橋 本 龍	八 戸 市 立 根 城 中 学 校	建設環境工学科4年
【4年次成績部門】		
曲 田 航 平	八 戸 市 立 大 館 中 学 校	機械工学科5年
武 田 一 希	む っ 市 立 大 平 中 学 校	電気情報工学科5年
新 毛 実 結	東 北 町 立 上 北 中 学 校	物質工学科5年
浜 山 千 佳	八 戸 市 立 三 条 中 学 校	建設環境工学科5年
【専攻科成績部門】		
馬 渡 大 壮		環境都市・建築デザインコース2年
佐 藤 航 大		電気情報システム工学コース2年

○学習到達度試験優秀賞

科 目	学 科	学 生 氏 名	出 身 中 学 校
数 学 (1位)	電 気 情 報 工 学 科	東 山 聖 生	五 戸 町 立 倉 石 中 学 校
物 理 (1位)	電 気 情 報 工 学 科	東 山 聖 生	五 戸 町 立 倉 石 中 学 校
	物 質 工 学 科	中 村 圭 吾	八 戸 市 立 根 城 中 学 校

○三ヶ年皆勤賞

機 械 工 学 科			
川 渡 拓 真	八 戸 市 立 第 一 中 学 校	瀧 野 アリサ	八 戸 市 立 小 中 野 中 学 校
黒 澤 俊 祐	階 上 町 立 階 上 中 学 校	中 下 陽 平	三 沢 市 立 第 二 中 学 校
高 橋 晴 輝	五 戸 町 立 五 戸 中 学 校	中 村 真 慈	八 戸 市 立 下 長 中 学 校

電 気 情 報 工 学 科			
赤 坂 裕 也	八 戸 市 立 中 沢 中 学 校	関 大 輔	八 戸 市 立 長 者 中 学 校
安 保 蓮	つ が る 市 立 柏 中 学 校	高比座 海 斗	階 上 町 立 階 上 中 学 校
大 橋 功 一	八 戸 市 立 北 稜 中 学 校	田 中 涼 賀	八 戸 市 立 湊 中 学 校
尾 崎 大 地	黒 石 市 立 六 郷 中 学 校	西 本 智 哉	八 戸 市 立 東 中 学 校
小 田 和 樹	八 戸 市 立 北 稜 中 学 校	東 山 聖 生	五 戸 町 立 倉 石 中 学 校
荻 田 健 徳	八 戸 市 立 白 山 台 中 学 校	古 川 優 樹	八 戸 市 立 田 代 中 学 校
佐々木 祐 哉	八 戸 市 立 北 稜 中 学 校	本 波 汰 一	久 慈 市 立 久 慈 中 学 校
杉野森 恵 衣	八 戸 市 立 第 一 中 学 校		

物 質 工 学 科			
石 橋 龍	八 戸 市 立 小 中 野 中 学 校	齊 藤 基	青 森 市 立 沖 館 中 学 校
市 川 夏 音	八 戸 市 立 長 者 中 学 校	津 村 舞 奈	八 戸 市 立 明 治 中 学 校
岩 藤 理 英	八 戸 市 立 東 中 学 校	濱 村 祐 利	七 戸 町 立 七 戸 中 学 校
小 橋 和 樹	南 部 町 立 杉 沢 中 学 校	林 下 知 未	洋 野 町 立 中 野 中 学 校

建 設 環 境 工 学 科			
会 津 優	青 森 市 立 浪 打 中 学 校	橋 本 龍	八 戸 市 立 根 城 中 学 校
大 沢 光 司	八 戸 市 立 東 中 学 校	三 浦 亮 太	六 ヶ 所 村 立 泊 中 学 校

「保護者の声」設置について

保護者と学校の連携を密にし、よりよい教育を推進するため、下記のとおり「保護者の声」を設置しております。

お子さんの就学上のこと、学校に対する要望、ご意見など、無記名で結構ですので、郵便・電話・FAX・e-mail等で随時下記の連絡先までお寄せください。

《連絡先》

八戸工業高等専門学校 総務課総務係
TEL 0178-27-7223 FAX 0178-27-9379
e-mail:somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

授業料等の納付について

後期分授業料の口座振替を、10月26日(木)に行います。(就学支援金額未決定者、授業料免除申請者を除く)

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も併せて振替になります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

単位：円

授業料		寄宿料		学 寮 運営費	振 替 手数料
1～3年	4年～	複数室	個室		
117,300 ※57,900	117,300	4,200	4,800	48,255	66

※就学支援金受給対象者（加算支給なし）の場合

授業料等を期日（前期分9月、後期分3月）までに納付しない者は、授業料等未納により除籍などの処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】総務課財務係 TEL 0178-27-7228

後期授業料免除のお知らせ

平成29年度後期授業料免除（4年生以上）の申請受付期間は以下のとおりです。

・申請受付期間 9月1日(金)～9月29日(金)
(土・日・祝日および学校閉鎖期間を除く9:00～17:00まで)

申請期間以降の受付はできません。必ず期間内に申請してください。また、申請書類に不備がないよう提出前に確認してください。
なお、前期申請時に後期分も申請した学生は提出不要です。

3年生以下については、高等学校等就学支援金制度があるため、次の場合に限り申請を受け付けます。

・納期前6月以内に、主たる学資負担者が死亡または風水害等の災害を受けた場合
・納期前6月以内に、主たる学資負担者が失職しその後再就職していない場合

【授業料免除等に関する問い合わせ先】

学生課学生係 TEL:0178-27-7235

平成29年度 公開講座

- (1) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズ
ーまちづくり講演ー
日時：6月11日(日)
対象：中学生、保護者、中学校教員、一般
- (2) メカ no ワールド体験塾 Aコース
日時：7月9日(日)
対象：中学生、中学校教員
- (3) ジュニア柔道クリニック イン 高専
日時：7月24日(月)・25日(火)・26日(水)
対象：小学生、中学生
- (4) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズ
ー水の環境調査ー
日時：8月5日(土)
対象：中学生、保護者、中学校教員
- (5) 化学の学校
～マテリアル・バイオ工学の世界へようこそ～
日時：8月7日(月)・8日(火)
対象：中学生、保護者、中学校教員
- (6) ロケットはなぜ飛ぶか
～PETボトルロケットコンテスト～
日時：8月19日(土)
対象：小学生
- (7) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズ
ーブリッジコンテストー
日時：9月2日(土)
対象：中学生、保護者、中学校教員
- (8) ジュニアロボット教室
日時：9月23日(土)
対象：小学5年生以上、中学生（小学生は保護者同伴）
- (9) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズ
ー建築模型ー
日時：9月23日(土)
対象：中学生、保護者、中学校教員
- (10) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズ
ー防災ー
日時：9月30日(土)
対象：中学生、保護者、中学校教員
- (11) メカnoワールド体験塾 Bコース
日時：10月7日(土)
対象：中学生、中学校教員

